



愛知県立惟信高等学校

ISHIN HIGH SCHOOL

令和6年度

「新時代に対応した高等学校改革推進事業」 指定校発表

令和6年9月26日（木）

目次

- | | | | |
|-----------|---------------------|-----------|------------------|
| 01 | 学校の基本情報 | 05 | 課題と工夫 |
| 02 | 新学科の特色 | 06 | 令和6年度の取組 |
| 03 | 令和5年度の成果と課題 | 07 | 令和7年度に向けて |
| 04 | 総合的な探究の時間の取組 | | |

① 学校の基本情報



学校名

愛知県立惟信高等学校

住所

愛知県名古屋市港区惟信町2-262

生徒数

808名 （令和6年7月1日現在）

教員数

約70名

新学科名

未来探究科（令和7年度新設予定）

学校の特徴

普通科と未来探究科の2学科

令和6年度 創立100年

② 新学科の特色

未来探究科

自分、地域、日本、世界の未来の
可能性を広げる「実践力」を育もう！



・ 設置の目的

地域に根ざした探究活動（発見－交流－貢献）を実践することで、「実践力」と「自立型思考力」を育み、多様性のある地域共生社会で、新しい価値を創造し、地域社会に貢献し、未来を切り開く人材を育成する

・ 特色ある教育

- ① 3つの軸「空間軸」「時間軸」「人間軸」を意識し、生徒が主体的に探究的な学習や探究的な活動に取り組む
- ② 地域に根差した探究活動をベースとし、その実践を通して、幅広い視野を獲得する

③ 令和5年度の成果と課題

1 成果

- ・ 新学科開設に向けた校内組織の組成
 - ・ コンソーシアムの構築と地域への連携協力依頼
 - ・ 運営指導委員会における情報交換
 - ・ **生徒の主体性に重点を置いた「総合的な探究の時間」の試行**
 - ・ 新設学科の経営案、カリキュラム等の検討
 - ・ 「主体的・対話的で深い学びを生む授業」の実現を目指して全職員による
授業研究・研修の実施
-

2 課題

- ・ 全教職員の参画意識の向上
- ・ 外部関係機関との有機的連携の強化
- ・ 事業運営体制の見直し

④ 令和5年度「総合的な探究の時間」の取組



1年 「地元の宝さがし」

- ① 「地元の宝」について個人発表
- ② 個人発表から「チームの宝」選抜
- ③ チームで、宝の調査・研究
- ④ 関係者への訪問取材・調査研究
まとめ・ポスター制作・発表



2年 「港区改善計画」

- ① 地元地域の抱える課題を考える
- ② 社会の組織体系を模倣して「課」
に分かれる（環境課など）
- ③ 課題解決案をプレゼンテーション
- ④ 区役所からの助言や企業訪問等
から学びを深める



3年 「学びの探究」

- ① 個人で最も興味がある教科
の魅力をまとめる
- ② 興味のある教科ごとにクラス
を再編成し、チームで発表
- ③ 教科ごとの優秀プレゼンテー
ションを学年全体で発表

⑤ 課題と工夫 - 生徒の主体性に重点を置いた「総合的な探究の時間」における工夫 その1



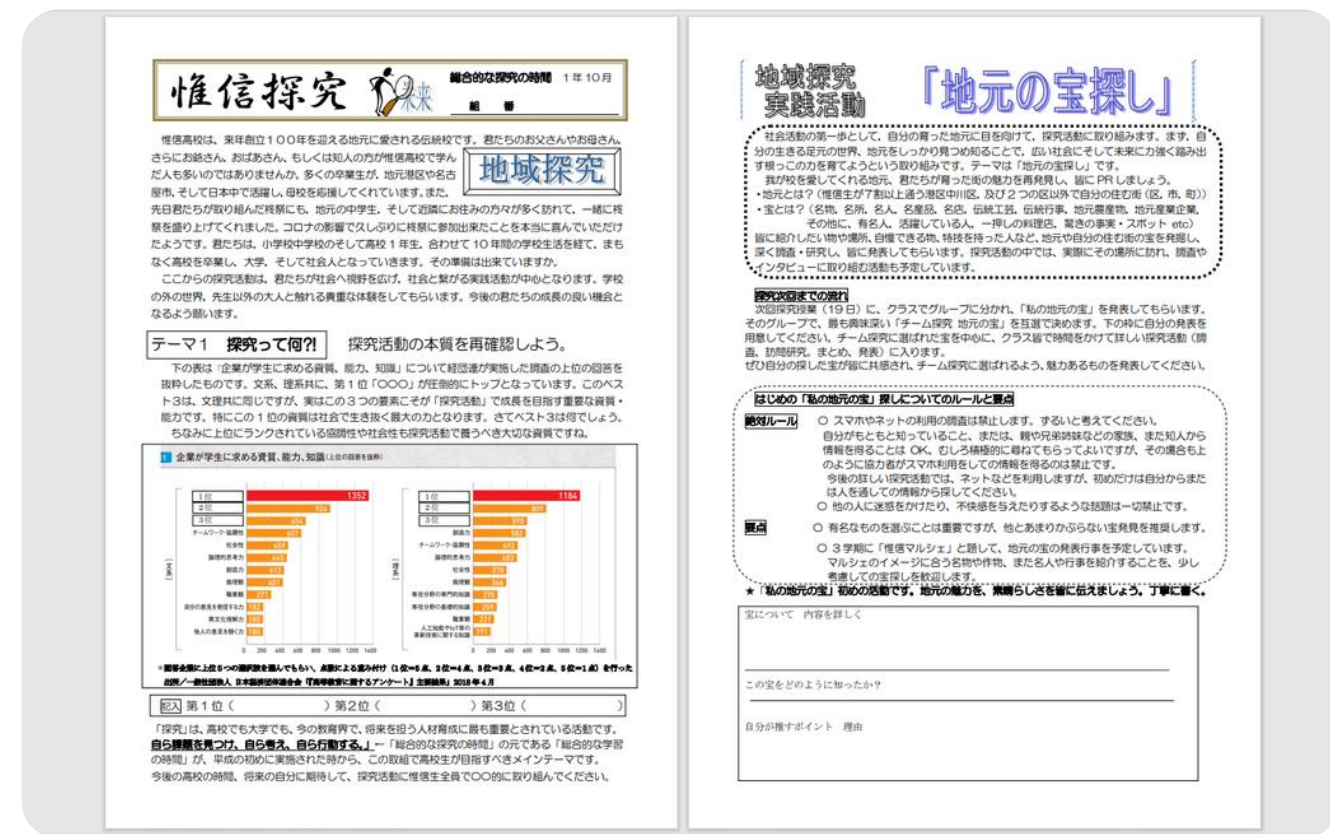
探究委員（生徒）

「総合的な探究の時間」
実践の生徒リーダーとして
運営の一端を担う

本校の「総合的な探究の時間」は、各クラス2名ずつの探究委員が教壇に立ち、毎時間の授業の司会進行・運営を行う。生徒の主体性を育むため、教員による先行的導きをしないことを念頭に置いた。

令和6年度は、3学年とも探究委員による授業運営をしており、生徒が主体性を育む風土を作っている。

⑤ 課題と工夫－生徒の主体性に重点を置いた「総合的な探究の時間」における工夫 その2



惟信高校オリジナルワークシート

学校の置かれた環境や生徒の実態に即した活動を優先する

既存の教科書は使わずに、生徒の個々の興味・関心を基に、主体的に取り組むことを大切にする。

惟信高校オリジナルワークシートを作成し、現在の生徒の実態に即した内容になるように工夫をしている。

ワークシート作成者の負担はあるが、毎年改良してくことでよりよい探究活動を目指していく。

⑤ 課題と工夫 - 生徒の主体性に重点を置いた「総合的な探究の時間」における工夫 その3



訪問取材先は自分で
見つけ、自分で依頼する
失敗をさせることを恐れず
試行錯誤の経験を大切にする

1年生の探究活動テーマ「地元の宝さがし」、2年生の探究活動テーマ「未来への主張」において、各チームのテーマについて訪問取材したい人や関係機関を、生徒自ら、電話で取材依頼し、チームで訪問するという活動を行っている。学校の枠を越え、社会に活動の場を求めることで、試行錯誤の経験を積む。

⑤ 課題と工夫 - 生徒の主体性に重点を置いた「総合的な探究の時間」における工夫 その4



惟信マルシェ

1年生探究活動「地元の宝探し」 総仕上げの発表イベント

地元と協力し、地元・本校合同マルシェを地域住民、近隣中学生を招いて開催する。屋外でテントを用い、協力を得た地元の方と招待したクラスが協力して合同で運営する。（1クラス1ブース1発表）

また、体育館で1年生の探究活動「地元の宝」の各クラス発表を掲示や解説などで紹介する。

惟信マルシェ 紹介その1

【地元の宝 地域連携発表(テントブース)】 イベント内容 ←

A「港警察署」 港区の安全を365日見守ってくれている港区の守り神。←

イベント内容は ①「本気の自転車交通安全教室」11:00~12:00 ←

②ブースでの個別相談・体験 ① 詐欺犯罪防止 ② 110番通報体験 ③ 防犯対策←



B「野崎採種場(野崎白菜)」 地元の名産品として愛される野崎白菜や、キャベツ、ブロッコリー等の種子専門育生元で全国に種子を供給する野崎採種場さんは「地元の宝」そのもの。←

イベント内容 ① 野崎さん野菜提供の新鮮野菜スープ(生徒手造り)無料試食提供。←

① はくちゃんグッズ販売 はくちゃん着ぐるみのゆるキャラも見ものです。←



C「弥富民俗資料館(弥富の金魚)」 全国有数の金魚の産地 ←

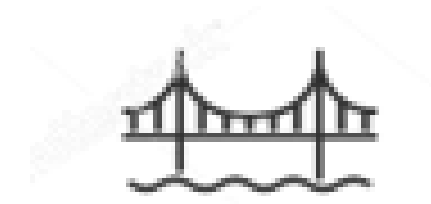
弥富市の民俗資料館さんが金魚をつれて参加してくれます。←

イベント内容 ① 金魚すくい体験 ② 色々な種の高魚展示 ③ 金ちゃんグッズ販売←



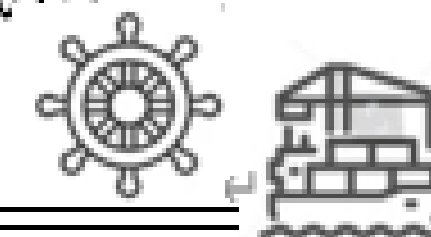
D「国土交通省庄内川出張所(新前田橋)」 新前田橋の夕景に魅せられたチームは、調査の中庄内川を保全管理する 国土交通省庄内川出張所さんへ取材。国土交通省さんが日頃より取り組む「防災活動」「橋の建設」に興味を抱いた。南海トラフ大地震への備えのためにも有意義な発表。←

イベント内容 ① 防災 VR 体験 ② 防災への備え・東海豪雨について講座 ←



E「名古屋港海洋博物館」 隠れた「地元の宝」であるこの博物館。港の事業こそ工業都市名古屋を支える我が町の誇り。その全貌を紹介するこの会館を皆に知ってもらいたい。←

イベント内容 ① 博物館紹介リーフレット提供 ② 博物館紹介パネル展示←



F「荒子川公園ガーデンプラザ」 四季の花が咲き誇る荒子川公園は地元民の憩いのスペース。←

年間で様々な行事が実施され、訪問客を出迎えます。←

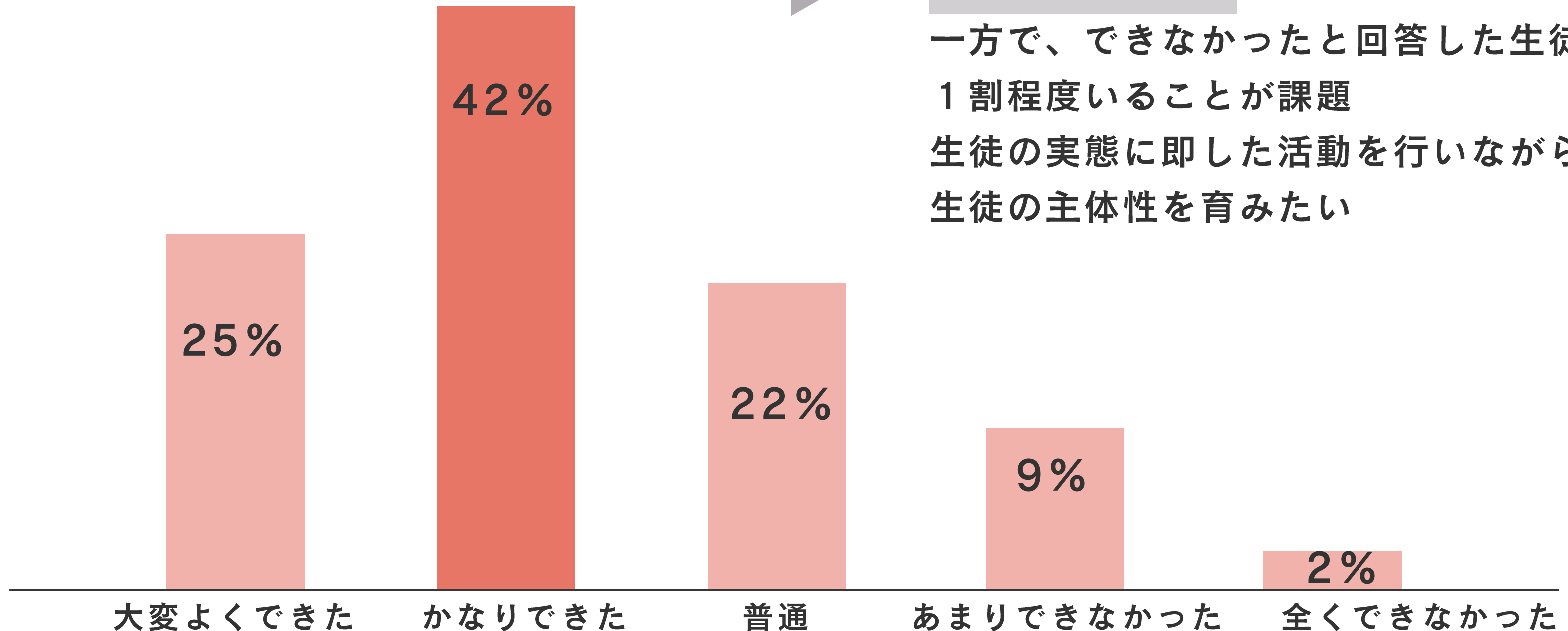
イベント内容 ① 公園紹介「紙芝居」風プレゼン ② 荒子川公園の1年紹介動画←



⑤ 課題と工夫 - R5年度「総合的な探究の時間」生徒自己評価 結果と反省（1年生から抜粋）

Q：主体的に活動できましたか？

主体的に活動できたと回答した生徒が
全体の6～7割程度いることは成果
一方で、できなかったと回答した生徒が
1割程度いることが課題
生徒の実態に即した活動を行いながら、
生徒の主体性を育みたい



⑥ 令和6年度の取組 - 令和5年度の課題を踏まえて

1 成果

(令和5年度)

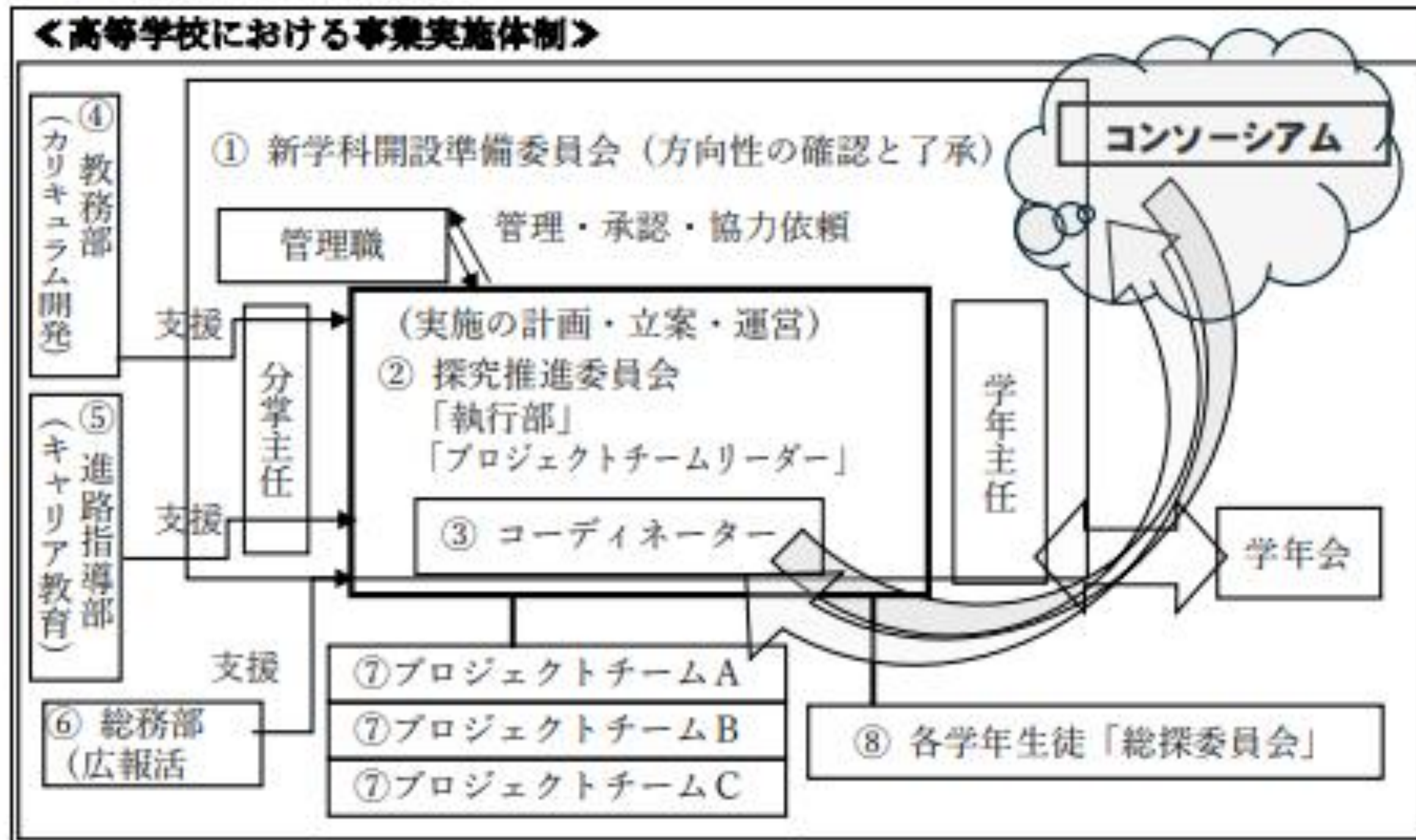
- ・新学科開設に向けた校内組織の組成
 - ・コンソーシアムの構築と地域への連携協力依頼
 - ・運営指導委員における情報交換
 - ・生徒の主体性に重点を置いた「総合的な探究の時間」の試行
 - ・新設学科の経営案、カリキュラム等の検討
 - ・「主体的・対話的で深い学びを生む授業」の実現を目指して全職員による
授業研究・研修の実施
-

2 課題

(令和5年度)

- ・全教職員の参画意識の向上
- ・外部関係機関との連携の強化
- ・事業運営体制の見直し

⑥ 令和6年度の取組 - 運営体制



探究推進委員会を中心に、
実施の計画を行う

新たにプロジェクト
チームを組成し、
新学科開設に向けた
準備を行う

⑥ 令和6年度の取組 - プロジェクトチーム

チームA

「総合的な探究の時間」 の運営

- ・各学年主任とともに「総合的な探究の時間」の立案・運営
- ・定例の時間割に会議を組み込み、各学年のチームAと執行部が協議

6名（各学年主任＋各学年1名）

チームB

新学科「未来探究科」 の全体経営

- ・新学科の全体経営
 - ・学校設定教科の開発
- 「(仮)総合探究」、「(仮)学び探究」の
2教科（各1単位）

7名（素案提出者）

チームC

授業改善 学校全体でよりよい 授業を目指す

- ・授業改善のための取組の実践
- ・「主体的で対話的で深い学び」の実現を目指した研修の実施

7名（教科主任）

⑥ 令和6年度の取組 - チームAの取組

チームA

「総合的な探究の時間」
の実践例

- ・ 1年生は「地元の宝」をテーマに自分の住む町の大好きで誇れる名物について探究する
- ・ 2年生は「未来への主張」をテーマに、自分、そして世界の「未来への課題」を見つけ、探究する

1年 地元の宝 テーマ 例	訪問先
中川運河	名古屋港管理組合
長良中学校	長良中学校のA先生
甚目寺観音	甚目寺観音住職

2年 未来への主張 テーマ 例	訪問先
日本は大改革を行うべき！	名古屋市長 河村たかし
動物の殺処分をなくす	名古屋市動物愛護センター
すべての学校に教師を	JICA中部

※夏休み中に訪問予定

⑥ 令和6年度の取組 - チームBの取組

チームB

新学科「未来探究科」 の全体経営

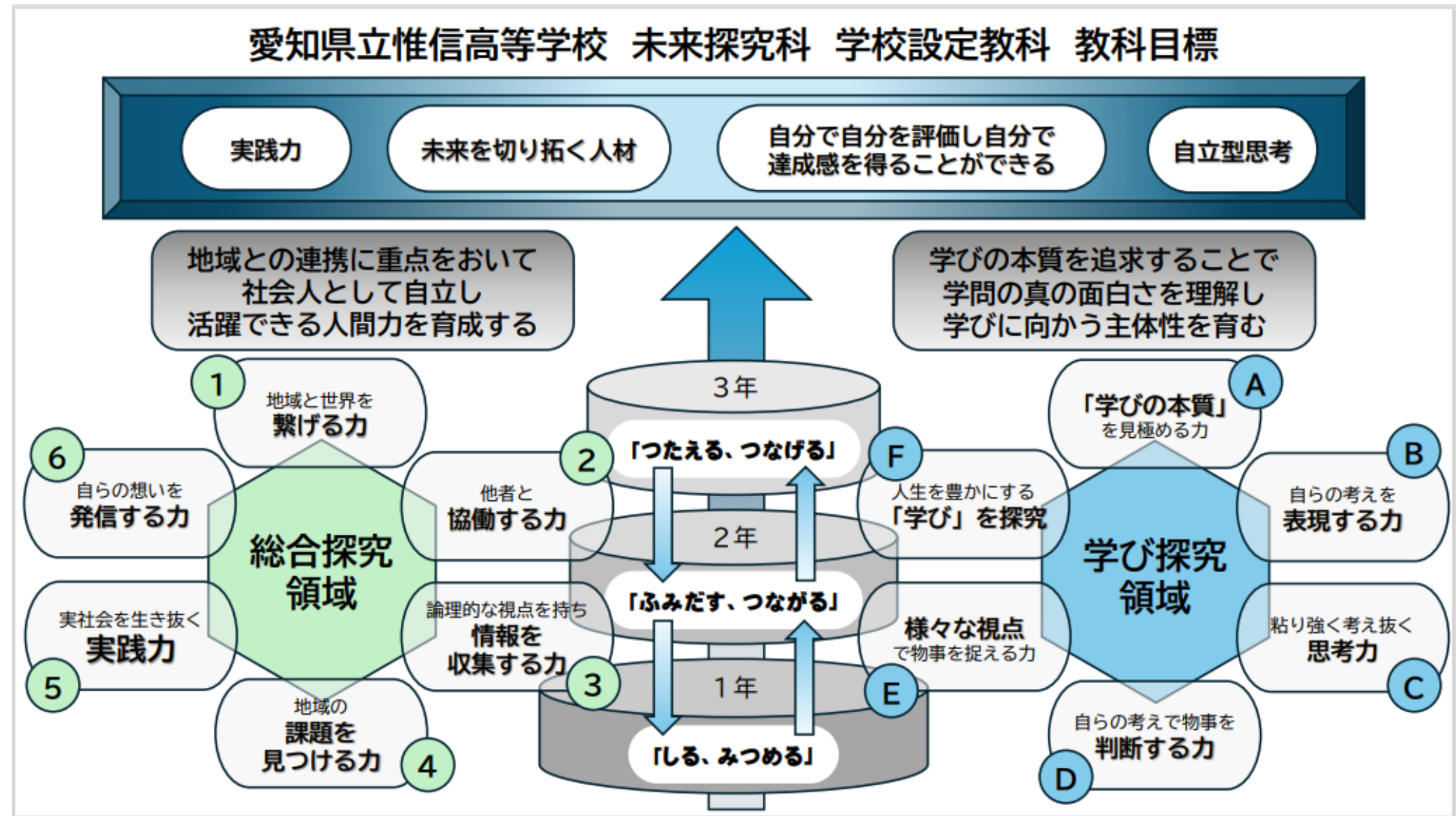
- ・ 学校設定教科の開発

「(仮)総合探究」、「(仮)学び探究」の
2教科（各1単位）

右図は学校設定教科の目標

目標に沿ってカリキュラム開発を
行っている

学校設定教科 教科目標（案）



⑥ 令和6年度の取組 - チームCの取組

チームC

授業改善学校

学校全体でよりよい
授業を目指していく

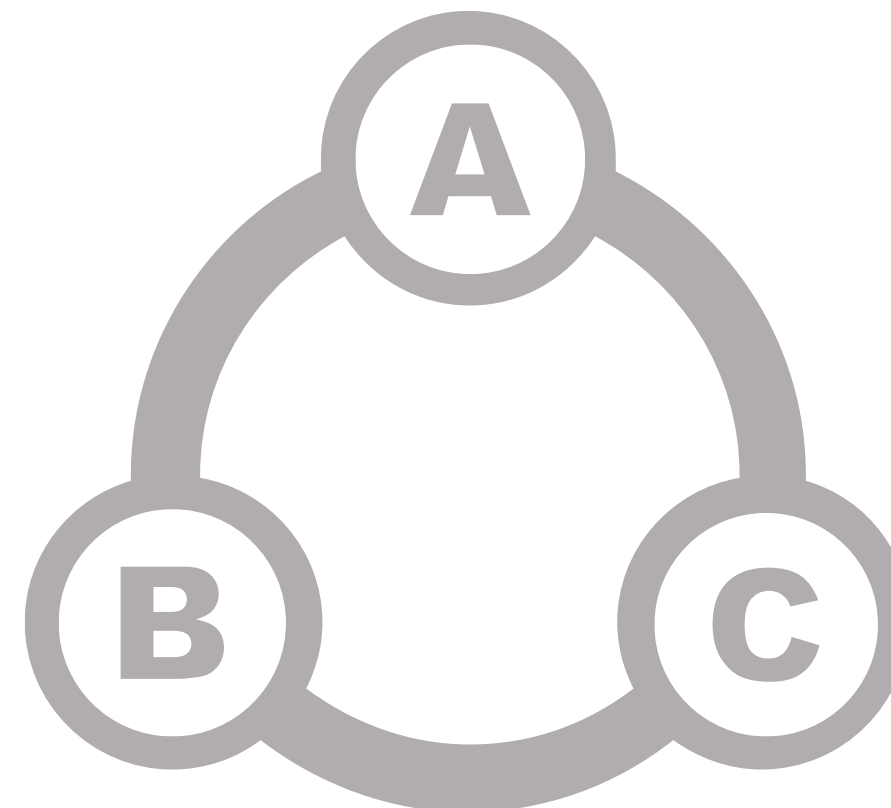
- 授業改善のための取組の実践
- 「主体的で対話的で深い学び」の実現を目指した研修の実施

1 学期の取組①

授業参観（別教科で3人1組）

互いの授業を参観・意見交換

学校全体で気づきを共有

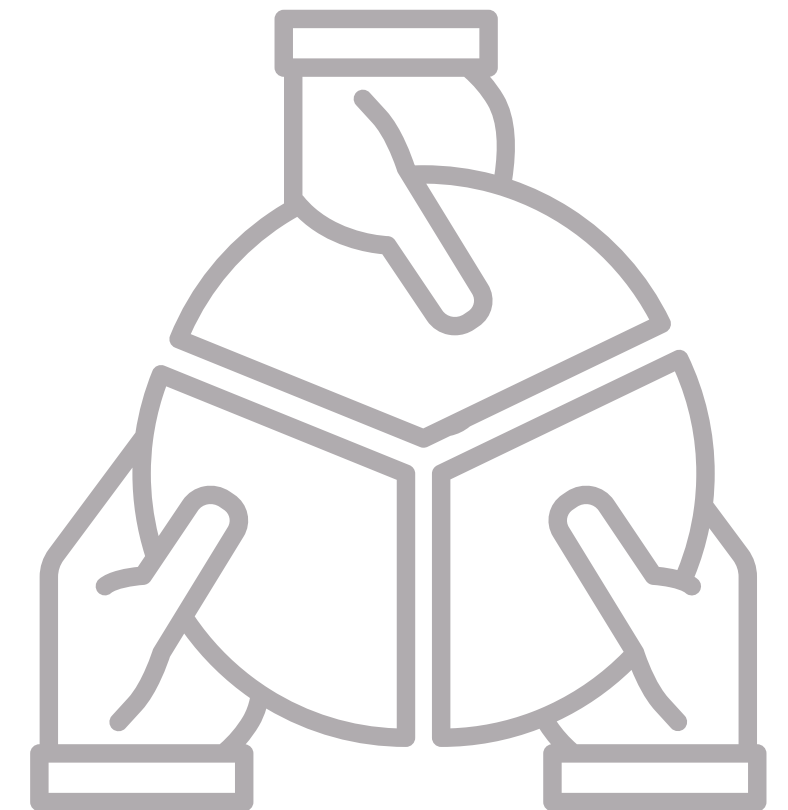


1 学期の取組②

教科毎の研修（例：英語科）

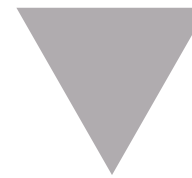
パフォーマンステストの共有

3観点評価について協議など



⑦ 令和7年度に向けて

- ・「総合的な探究の時間」の改善後の実施
- ・新学科「未来探究科」の開設
- ・新学科における学校設定教科の開講
- ・研究指定終了後の自走に向けた体制整備



既設の普通科・新設の未来探究科の生徒が共に学ぶ「総合的な探究の時間」を通して、両者が互いに影響を与え合うことで、学校全体に「実践力」と「自立型思考力」が普及し、生徒全員が独自の視点を持って、力強く地域社会で活躍する人材となることを期待する。

生き生きと地域で探究活動する生徒が魅力の普通科高校となることも目指していく。

また、本校の取組を通して日本の都市型普通科高校の改革に寄与したいと考える。

愛知県立惟信高等学校



ISHIN
HIGH SCHOOL